

JT-H450.8
JT-H323のための
名前通知付加サービス

Name Identification Supplementary Service
for JT-H323

第1版

2000年4月20日制定

社団法人
情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

< 参考 >

1 . 国際勧告等との関連

本標準はITUにおいて制定されたH.323のための名前通知サービスH.450.8第1版(2000年)に準拠している。

2 . 上記勧告等に対する追加項目等

本標準では国際標準において編集上の誤りと考えられる点については修正すると共に本文中にその旨を「注記」として明記した。

3 . 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2000年4月20日	制定

4 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページでご覧になれます。

5 . その他

(1)参照している勧告、標準等

ITU - T 勧告 :

H.323、 H.225.0、 H.245、 H.450.1、 H.450.8

ISO / IEC 標準 :

ISO/IEC 10646-1

TTC 標準 :

JT-H323、 JT-H225.0、 JT-H245、 JT-H450.1

(2)他の国内標準との関連

目次

要約	1
1 適用範囲	2
2 参照している標準	2
3 用語と定義	2
4 略語	2
5 概要	3
5.1 発信ユーザ名表示	3
5.2 発信ユーザ名表示制限	3
5.3 接続先ユーザ名表示	3
5.4 接続先ユーザ名表示制限	4
6 メッセージおよび情報要素	4
6.1 発信ユーザ名情報	4
6.2 接続先ユーザ名情報	4
6.3 呼出ユーザ名情報	4
6.4 ビジーユーザ名情報	5
7 発信エンドポイントでの動作	5
7.1 発信エンドポイントとしてのゲートウェイ	5
7.2 発信エンドポイントとしての端末およびMCU	5
8 着信エンドポイントでの動作	6
8.1 着信エンドポイントとしてのゲートウェイ	6
8.2 着信エンドポイントとしての端末およびMCU	6
9 ゲートキーパーでの動作	6
9.1 発信エンドポイントとしてのゲートウェイ	6
9.2 発信エンドポイントとしての端末およびMCU	6
9.3 着信エンドポイントとしてのゲートウェイ	7
9.4 着信エンドポイントとしての端末およびMCU	7
付属資料 A	8

要約

本標準はJT-H323（パケットに基づくマルチメディア通信システム）のための名前通知付加サービス機能について記述する。

これらの機能は以下の通りである。

- 発信ユーザ名表示、表示制限
- 接続先ユーザ名表示、表示制限
- 呼出ユーザ名表示、表示制限
- ビジーユーザ名表示、表示制限

発信ユーザ名情報は発信エンドポイント、あるいはゲートキーパー経由呼モデルを使用時にゲートキーパーから提供される。接続先ユーザ名情報、呼出ユーザ名情報、またビジーユーザ名情報は応答ユーザ、呼出ユーザ、ビジーユーザ相互から、ゲートキーパー経由呼モデルを使用時にはゲートキーパーから提供される。

JT-H.323のための名前通知付加サービス

1 適用範囲

本標準は、JT-H323（パケットに基づくマルチメディア通信システム）によってサポートされるさまざまな基本サービスに適用される名前通知付加サービスについて記述する。

2 参照している標準

以下に示す TTC 標準（ITU-T 勧告およびその他の参照文献）は、本標準を構成する規定が含まれており、本標準の本文中から参照されている。

本標準出版時には、以下に示す版が有効であった。全ての標準/勧告や参照文献は改訂されることがある。そのため、本標準を使用する場合は、以下に挙げた標準/勧告およびその他の参照文献について、最新版の適用可能性を調べることを望ましい。最新版の TTC 標準/ITU-T 勧告リストは定期的な出版されている。

TTC標準JT-H323 第2.2版(1999): パケットに基づくマルチメディア通信システム

TTC標準JT-H225.0 第2版(1998): サービス非保証型 LANでのメディアストリームのパケット化および同期化

TTC標準JT-H245 第3版(1998): マルチメディア通信制御用プロトコル

TTC標準JT-H450.1 第1版(1998): JT-H323における付加サービス実現のための汎用機能プロトコル

ISO/IEC 10646-1 "Information Technology - Universal Multiple Octet Coded Character Set (UCS) - Part I: Architecture and basic multilingual plane".

3 用語と定義

本標準では、JT-H323で定義されている用語、定義を用いる。

（補足）なお、本標準において、ASN.1で定義される用語については原則として原文を使用することとする。

4 略語

本標準のために以下の略語を使用する。

ASN.1 Abstract Syntax Notation No. 1
 抽象構文記法1

APDU Application Protocol Data Unit
 アプリケーション・プロトコル・データユニット

GK	Gatekeeper ゲートキーパー
NFE	Network Facility Extension 拡張ネットワークファシリティ
SCN	Switched Circuit Network 回線交換ネットワーク

5 概要

5.1 発信ユーザ名表示

発信ユーザ名表示は着信ユーザに対して発信ユーザの名前を提供する機能である。発信ユーザ名は発信エンドポイントから、あるいはゲートキーパー経由呼がパケットネットワーク上で発呼されたときにはゲートキーパーから提供される。呼が発信側エンドポイントを登録しているゲートキーパーを経由するとき、そのゲートキーパーは提供されている名前が実際に発信ユーザかどうかを確認する検証サービスを提供してもよい。ゲートキーパーは発信ユーザから名前が提供されていないときや、発信ユーザが不正な名前を提供しているときにも、発信ユーザ名を提供してもよい。ゲートキーパーが名前情報を取得する方法は実装上の問題であり、本標準の適用範囲外である。

呼が回線交換ネットワークで発呼され、ゲートウェイ経由でパケットネットワークに入った場合、ゲートウェイは回線交換ネットワークから提供された発信ユーザの名前情報をパケットネットワークに通過させなければならない。

5.2 発信ユーザ名表示制限

発信ユーザ名表示制限は発信ユーザ、あるいは発信ユーザのゲートキーパーに対して、着信ユーザに対する発信ユーザの名前表示を制限することを許可する機能である。この機能はエンドポイント、あるいはゲートキーパー経由呼時にゲートキーパーが持つ。

発信ユーザ名表示制限が通知されているいくつかの場合において、表示制限が無効にされるような状況が存在する。（例えば、着信ユーザが緊急サービスを提供しているときなど）

5.3 接続先ユーザ名表示

接続先ユーザ名表示は発信ユーザに対して接続先ユーザの名前を提供する機能である。接続先ユーザ名は接続先エンドポイントから、あるいはゲートキーパー経由呼時にはゲートキーパーから提供されてもよい。呼が接続先エンドポイントを登録しているゲートキーパーを経由するとき、そのゲートキーパーは接続先ユーザによって提供されている名前を検証するサービスを提供してもよい。ゲートキーパーは接続先ユーザから名前が提供されていないときや、接続先ユーザが不正な名前を提供しているときにも、接続先ユーザ名を提

供してもよい。ゲートキーパーが名前情報を取得する方法は実装上の問題であり、本標準の適用範囲外である。

また、オプションとして呼出ユーザ名あるいはビジネである着信ユーザ名を発信ユーザに表示することも含まれる。呼出ユーザ名およびビジネユーザ名を表示するためのオペレーションは接続先ユーザ名表示と同様である。

5.4 接続先ユーザ名表示制限

接続先ユーザ名表示制限は接続先ユーザ、あるいは接続先ユーザのゲートキーパーに対して、発信ユーザに対する接続先ユーザの名前表示を制限することを許可する機能である。この機能はエンドポイント、あるいはゲートキーパー経由呼時にゲートキーパーが持つ。

呼出ユーザ名およびビジネユーザ名を表示制限するためのオペレーションは接続先ユーザ名表示制限と同様である。

6 メッセージおよび情報要素

6.1 発信ユーザ名情報

発信ユーザ名情報はJT-H225.0呼設定メッセージ中のh4501SupplementaryService APDUによって送信されなければならない。callingNameオペレーションのAPDUは本標準の付属資料 A に記載しているName-Operations中に定義されている。

Name-Operations中に定義されたオペレーションのインボークAPDUを伝達するとき、NFEのdestinationEntityデータ要素はendpoint値を含まなければならない。

6.2 接続先ユーザ名情報

接続先ユーザ名情報はJT-H225.0応答メッセージ中のh4501SupplementaryService APDUによって送信されなければならない。connectedNameオペレーションのAPDUは本標準の付属資料 A に記載しているName-Operations中に定義されている。

Name-Operations中に定義されたオペレーションのインボークAPDUを伝達するとき、NFEのdestinationEntityデータ要素はendpoint値を含まなければならない。

6.3 呼出ユーザ名情報

呼出ユーザ名情報はJT-H225.0呼出メッセージ中のh4501SupplementaryService APDUによって送信されなければならない。alertingNameオペレーションのAPDUは本標準の付属資料 A に記載しているName-Operations中に定義されている。

Name-Operations中に定義されたオペレーションのインボークAPDUを伝達するとき、NFEのdestinationEntityデータ要素はendpoint値を含まなければならない。

6.4 ビジーユーザ名情報

ビジーユーザ名情報はJT-H225.0解放完了メッセージ中のh4501SupplementaryService APDUによって送信されなければならない。busyNameオペレーションのAPDUは本標準の付属資料 A に記載しているName-Operations中に定義されている。

Name-Operations中に定義されたオペレーションのインボークAPDUを伝達するとき、NFEのdestinationEntityデータ要素はendpoint値を含まなければならない。

7 発信エンドポイントでの動作

7.1 発信エンドポイントとしてのゲートウェイ

発信ユーザ名は6.1節に記載されているように、他のネットワークから有効な信号を取得し、JT-H323環境へ転送されなければならない。名前が取得できない場合、callingNameオペレーションのName要素はnameNotAvailableを示さなければならない。名前が取得でき、その表示に対する制限が記されていた場合、callingNameオペレーションのName要素はnamePresentationRestrictedを示さなければならない。名前が取得でき、その表示に対する制限が存在しなかった場合、callingNameオペレーションのName要素はnamePresentationAllowedを示さなければならない。

JT-H225.0応答、呼出あるいは解放完了メッセージ（ビジーユーザ名を示す）に含まれているJT-H323環境で利用できる名前情報は他のネットワークの信号形式に変換されなければならない。

7.2 発信エンドポイントとしての端末およびMCU

パケットネットワーク上から発信された呼のために、発信端末およびMCUは6.1節に記載されているように呼設定メッセージを送信してもよい。着信ユーザに対しての名前表示が望ましい場合、callingNameオペレーションのName要素はnamePresentationAllowedを示すべきである。着信ユーザに対しての名前表示が制限されていた場合、callingNameオペレーションのName要素はnamePresentationRestrictedを示すべきである。

connectedName, alertingName, および busyName APDU を含むJT-H225.0応答、呼出および解放完了メッセージを受信する端末およびMCUは、Name要素がnamePresentationRestrictedを示すとき名前情報を表示すべきでない。

8 着信エンドポイントでの動作

8.1 着信エンドポイントとしてのゲートウェイ

JT-H225.0呼設定メッセージを受信するゲートウェイはcallingName APDU中の名前情報を他のネットワークの信号形式に変換しなければならない。

他のネットワークから信号情報を受け取り、その結果JT-H323環境にJT-H225.0呼出、応答および（ビジーユーザの場合）解放完了メッセージをゲートウェイが他のネットワークの信号情報から名前情報を取得したとき転送する。ゲートウェイは6.2、6.3および6.4節に記載されているように、適切なJT-H225.0メッセージ（応答、呼出および解放完了）を送信しなければならない。

8.2 着信エンドポイントとしての端末およびMCU

JT-H225.0呼設定メッセージを受信する端末およびMCUは、Name要素がnamePresentationRestrictedを示しているとき名前情報を表示すべきでない。

JT-H225.0呼設定メッセージを受信する端末およびMCUは、6.2、6.3および6.4節に記載されているように呼出、応答および解放完了に名前情報を含んでもよい。発信ユーザに対する名前表示が望ましい場合、alertingName、connectedName、およびbusyName NameオペレーションのName要素はnamePresentationAllowedを示すべきである。着信ユーザに対する名前表示が制限されている場合、alertingName、connectedName、およびbusyNameオペレーションのName要素はnamePresentationRestrictedを示すべきである。

9 ゲートキーパーでの動作

ゲートキーパー経由時には、ゲートキーパーは名前情報を提供してもよいし、検証サービスを提供してもよい。ゲートキーパーによって提供されるサービスはエンドポイントのタイプに依存する。

9.1 発信エンドポイントとしてのゲートウェイ

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーはゲートウェイから送信された呼設定メッセージ中の情報を変更すべきでない。これは電話網が正確な情報を提供していることを仮定している。

9.2 発信エンドポイントとしての端末およびMCU

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーは発信ユーザがゲートウェイでなければJT-H225.0呼設定メッセージで名前情報を提供してもよい。ゲートキーパーは発信ユーザによって提供されていないときに、あるいはゲートキーパーがその名前が正しいものでないと決定したときに名前情報を提供してもよい。ゲートキーパーが名前情報を正しいものでないと決定する手段は、実装上の問題であり、本標準の適用範囲外である。

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーはJT-H225.0呼出、応答、および解放完了メッセージから名前情報を取り除く（名前オペレーションAPDUを提供しない）ことによって、あるいは、JT-H225.0呼出、応答、および解放完了メッセージのName要素でnameNotAvailableを示すように置き換えることによって表示制限を提供しても良い。

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーはその表示通知を無効にしてもよい。例えば、ゲートキーパーは発信エンドポイントが（緊急サービスからの呼のためなど）名前情報をユーザに提供すべきときにnamePresentationRestrictedをnamePresentationAllowedに変更してもよい。

9.3 着信エンドポイントとしてのゲートウェイ

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーはゲートウェイから送信された応答、呼出、解放完了メッセージ中の情報を変更すべきでない。これは電話網が正確な情報を提供していると仮定しているためである。

9.4 着信エンドポイントとしての端末およびMCU

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーは発信ユーザがゲートウェイでなければJT-H225.0呼設定メッセージで名前情報を提供してもよい。ゲートキーパーは呼出、応答、およびビジューユーザによって提供されていないときに、あるいはゲートキーパーがその名前が正しいものでないと決定したときに名前情報を提供してもよい。ゲートキーパーは名前情報が正しいものでないと決定する手段は実装上の問題であり、本標準の適用範囲外である。

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーはJT-H225.0呼設定メッセージから名前情報を取り除く（名前オペレーションAPDUを提供しない）ことによって、あるいはJT-H225.0呼設定メッセージのName要素でnameNotAvailableを示すように置き換えることによって表示制限を提供しても良い。

ゲートキーパー経由の場合、ゲートキーパーはその表示通知を無効にしてもよい。例えば、ゲートキーパーは着信エンドポイントが（例えば緊急サービスからの呼のために）名前情報をユーザに提供すべきときにはnamePresentationRestrictedをnamePresentationAllowedに変更してもよい。

付属資料 A

本付属資料では名前通知付加サービスのオペレーションおよび要素のASN.1定義を提供する。

Name-Operations

```
{itu-t recommendation h 450 8 version1(0) name-operations(0) }
```

DEFINITIONS AUTOMATIC TAGS ::=

BEGIN

IMPORTS OPERATION, ERROR FROM Remote-Operations-Information-Objects

```
{joint-iso-itu-t remote-operations (4) informationObjects (5) version1 (0) }
```

EXTENSION, Extension {} FROM Manufacturer-specific-service-extension-definition

```
{itu-t recommendation h 450 1 version1 (0) msi-definition (18) }
```

MixedExtension FROM Call-Hold-Operations

```
{itu-t recommendation h 450 4 version1(0) call-hold-operations(0)};
```

NameOperations OPERATION ::=

```
{callingName | alertingName | connectedName | busyName}
```

callingName OPERATION ::=

```
{
```

```
  ARGUMENT SEQUENCE
```

```
  {
```

```
    name      Name,
```

```
    extensionArg      SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
```

```
    ...
```

```
  }
```

```
  RETURN RESULT      FALSE
```

```
  ALWAYS RESPONDS    FALSE
```

```
  CODE local:0
```

```
}
```

alertingName OPERATION ::=

```
{
```

```
  ARGUMENT SEQUENCE
```

```
  {
```

```
    name      Name,
```

```
    extensionArg      SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
```

```
    ...
```

```
  }
```

```
  RETURN RESULT      FALSE
```

```
  ALWAYS RESPONDS    FALSE
```

```
  CODE local:1
```

```
}
```

connectedName OPERATION ::=

```
{
```

```
  ARGUMENT SEQUENCE
```

```
  {
```

```
    name      Name,
```

```
    extensionArg      SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
```

```
    ...
```

```
  }
```

```
  RETURN RESULT      FALSE
```

```

    ALWAYS RESPONDS    FALSE
    CODElocal:2
}

busyName OPERATION ::=
{
    ARGUMENT SEQUENCE
    {
        name          Name,
        extensionArg  SEQUENCE SIZE (0..255) OF MixedExtension OPTIONAL,
        ...
    }
    RETURN RESULT      FALSE
    ALWAYS RESPONDS    FALSE
    CODElocal:3
}

Name ::= CHOICE
{
    namePresentationAllowed  NamePresentationAllowed,
    namePresentationRestricted NamePresentationRestricted,
    nameNotAvailable         NULL,
    ...
}

NamePresentationAllowed ::= CHOICE
{
    simpleName  SimpleName,
    extendedName  ExtendedName,
    ...
}

NamePresentationRestricted ::= CHOICE
{
    simpleName  SimpleName,
    extendedName  ExtendedName,
    restrictedNull  NULL, -- 他のネットワークが名前なしで名前表示を制限する
                    -- 相互接続の場合のみ用いられる
    ...
}

SimpleName ::= OCTET STRING (SIZE (1..50))

ExtendedName ::= BMPString(SIZE (1..256))  --Basic ISO/IEC 10646-1 (Unicode)

END -- 名前オペレーション

```

第1版 執筆作成協力者 (敬称略) (2000年1月現在)

(JT-H450.8 制定)

第三部門委員会

部門委員長	飯島 裕雄	日本電気(株)			
副部門委員長	小澤 和幸	NTTコミュニケーションズ(株)			
副部門委員長	山岡 一仁	沖電気工業(株)			
委員	川内 晴雄	ケイ・ティ・ティ(株)	委員	岡部 直	東京電力(株)
"	山階 正樹	(株)エヌ・ティ・ティ・コム	"	中村 寿博	日本情報通信コンサルティング(株)
"	森 文男	(株)エヌ・ティ・ティ・データ	"	古賀 得二	WG3-1 委員長・富士通(株)
"	牟田 総男	岩崎通信機(株)	"	中山 文信	WG3-1 副委員長・(株)東芝
"	勝川 保	住友電気工業(株)	"	森田 隆士	WG3-2 委員長・(株)日立製作所
"	酒井 一郎	日本アイ・ビー・エム(株)	"	久保 輝幸	WG3-2 副委員長・NTTコミュニケーションズ(株)
"	井坂 章	(株)リコー	"	小林 信之	WG3-2 副委員長・三菱電機(株)

第三部門委員会 第二専門委員会

専門委員長	森田 隆士	(株)日立製作所			
副専門委員長	久保 輝幸	NTTコミュニケーションズ(株)			
副専門委員長	小林 信之	三菱電機(株)			
委員	野崎 均	(株)インテック	委員	大西 洋也	(株)フジクラ
"	牟田 総男	岩崎通信機(株)	"	田川 昌俊	富士ゼロックス(株)
"	千村 保文	沖電気工業(株)	"	小野 嘉久	富士通(株)
"	高橋 匠	キヤノン(株)	"	村田 健一郎	古河電気工業(株)
"	西田 正樹	シャープ(株)	"	森 孝志	松下通信工業(株)
"	大間 稔	住友電気工業(株)	"	沼倉 歩	三菱電機(株)
"	関 豊	(株)東芝	"	寺尾 雄一	(株)リコー
"	金田 佳久	日本アイ・ビー・エム(株)	"	山崎 哲哉	(株)アルファシステムズ
"	沼田 幸喜	日本ルセントテクノロジー(株)	"	岩倉 久純	東京電力(株)
"	坂本 秀紀	日本電気(株)	"	加藤 芳章	日本情報通信コンサルティング(株)
"	宮川 徳一	日本無線(株)	"	濱井 龍明	(株)京セラ DDI 未来通信研究所
"	木下 成顕	(株)日立製作所			

[JT-H450.8の制定 検討グループ]

リーダー	千村 保文	沖電気工業(株)			
委員	新 政薦	NTTコミュニケーションズ(株)	委員	佐藤 克彦	日本無線(株)
"	石井 基章	(株)インテック	"	氏家 誠	(株)日立製作所
"	宇田川 研一	岩崎通信機(株)	"	西村 孝士	(株)日立テレコムテクノロジー
"	山田 武史	沖電気工業(株)	"	梅津 彰人	(株)フジクラ
"	谷川 兆宏	キヤノン(株)	"	高木 健至	富士通(株)
"	岩田 康裕	住友電気工業(株)	"	吉羽 治峰	松下通信工業(株)
"	樫本 晋一	(株)東芝	"	大門 英明	三菱電機(株)
"	中橋 修	日本電気(株)	"	寺尾 雄一	(株)リコー
"	東 義一	日本ビクター(株)			

事務局 元吉 茂 (第三技術部)